

## 第3期業務運営計画・平成29年度計画

平成29年3月7日  
常勤理事会

### I 教育機能等の強化・充実に係る事項

#### 1 教育に関する事項

##### (1) 教育内容及び教育の成果等に関する事項

###### 計画1 カリキュラムの充実

- ・放送授業・面接授業・オンライン授業の3つの授業形態について、それぞれの特性を踏まえた有効的な活用方法等について引き続き検討を行う。

###### 計画2 大学院教育の改善

- ・修士課程の改善に向けた制度設計について検討するとともに、現行制度において改善できる方策については順次実行に移す。
- ・博士課程の運営を着実に進めるとともに、完成年度にあたって整理された課題への改善に向けた検討を開始する。

###### 計画3 現代的要請に応じた科目開設

- ・看護師特定行為研修科目や小学校外国語の教科化対応科目等の現代的要請に応じた授業科目を積極的に開設し、適切に運用する。

###### 計画4 放送大学エキスパートの再構築

- ・科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）の既存プランの見直し、新設プランの検討を行い、再構築を進める。

###### 計画5 オンライン授業の本格実施

- ・オンライン授業の平成30(2018)年度開講科目を制作するとともに、将来計画等を踏まえ、今後開講する科目の検討・決定を行う。また、オンライン授業制作の標準化を進め、新たな体制によるオンライン授業の制作・運用の一層の充実を図る。

###### 計画6 ICTの活用による教育の充実

- ・キャンパスネットワークホームページ等を通じた双方向的な学習支援を一層推進し、また、教員に対しWeb会議システムの活用を促すとともに、オンライン授業における学習支援の検証を進める。
- ・学習センターにおける放送教材のインターネット配信視聴設備の環境整備を進める等に

より、ICT を活用した教育の充実を図る。

#### **計画 7 単位認定制度の改善**

・単位認定試験の複数回実施など再試験のあり方について、オンライン授業における評価の実施状況も踏まえて検討を開始する。

#### **計画 8 放送およびオンライン授業の制作の効率化**

・放送およびオンライン授業制作及びスタジオ利用の効率化について、放送教材制作体制の再構築に向けたWGにおける結論に基づき実施する。

### **(2) 学生サービス等に関する事項**

#### **計画 9 学習指導の充実**

・リメディアル教育の実施内容について検討する。

#### **計画 10 障害者支援の充実**

・障害学生への支援を引き続き推進する。

#### **計画 11 学習環境における利便性向上**

・インターネット配信や携帯端末向け配信を引き続き実施し、図書館コンテンツの在り方について検討を着手する等、学生の利便性向上を図る。

### **2 研究に関する事項**

#### **計画 12 若手教員の研究奨励等**

・教員評価等を通じ、若手教員の研究を奨励する。  
・アドバイザー制度等による研究支援策を講じ、研究費における外部資金の割合を高める。

### **3 地域貢献に関する事項**

#### **計画 13 学習センターにおける活動**

・今後の学習センターの中長期的な在り方について、整理された論点を基に、学習センター等の意見を聴取するなど、更に検討を進める。  
・学習センターにおける地域貢献活動を推進する。

#### 計画 14 大学・専修学校等との連携

- ・大学・専修学校等のニーズについて積極的に情報収集を行い、素点提供型を含め、大学や専修学校等との連携を一層推進する。

### 4 その他の事項

#### (1) 国際化に関する事項

#### 計画 15 海外の公開大学等との交流促進

- ・協定締結校を中心として、海外の大学等との交流を実施する。

## II 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### 1 組織運営の改善に関する事項

#### 計画 16 事務職員の採用・養成

- ・「放送大学学園 直接採用による中核的人材養成プラン」等に基づき、多様な職員採用、研修の充実を図る。

#### 計画 17 新教員評価制度への移行

- ・教員評価を着実に実施する。

#### 計画 18 教職員協働の促進

- ・教員と事務職員それぞれの専門性を踏まえ、教職員協働にふさわしいプロジェクトについて、必要に応じて、実施する。

#### 計画 19 教育支援センターの見直し

- ・オンライン教育センターへの改組を通じ、オンライン教育の本格的な制作・運用の充実を図る。

### 2 放送実施等に関する事項

#### 計画 20 次期放送番組運行システムの構築

- ・次期放送番組運行システムの稼動(平成 30(2018)年度)を目指し、整備計画(3ヵ年度)に基づき着実に整備を進める。

### 計画 21 BS 放送への完全移行

- ・平成 30 年 10 月末の地上系放送による授業配信の終了・BS 放送への完全移行に向け、必要な手続きを進める。

### 計画 22 新たな放送技術の活用

- ・スマートフォンとテレビの連動に係る技術的可能性や活用方策等、民間事業者等の動向を踏まえ、引き続き情報収集に努めるとともに試行に向けた検討を行う。

## 3 情報基盤に関する事項

### 計画 23 各種情報基盤の整備・充実

- ・次期教務情報システムの稼動(平成 29(2017)年度)に向けての開発、次期情報基盤システムの稼動(平成 30(2018)年度)に向けての整備を着実に進める等、情報化推進計画及び情報セキュリティ対策基本計画に沿った、情報基盤の整備・充実を図る。

## Ⅲ 財務内容の改善に関する事項

### 1 自己収入の増加に関する事項

#### 計画 24 学生納付金収入の確保

- ・広報活動による学生確保の促進と併せて、今後の学納金体系のあり方について、他大学等の状況を踏まえ、継続的に検討する。

#### 計画 25 外部資金等の獲得

- ・寄附金等の積極的な獲得に向け、今後の展開に向けた具体策を検討する。
- ・科学研究費補助金等の各種外部資金について、アドバイザー制度等による研究支援策を講じ、申請率の向上を図るなど、一層の獲得に努める。

### 2 経費の抑制に関する事項

#### 計画 26 業務改善とコスト管理の徹底

- ・業務と予算が連動した執行計画と業務改善計画に基づき、業務の効率的な運営と経費の縮減に努める。
- ・学生の情報機器の普及状況を踏まえつつ、学生との連絡の IT 化について検討を進め、論

点を整理し、実施可能性について結論を出す。

#### **計画 27 人件費の抑制**

- ・人件費の抑制に向けて、人員配置等の見直し策を検討し、順次着手する。

### **IV 学生確保に関する事項**

#### **計画 28 一般に対する広報（マス広報）の充実**

- ・データ分析・費用対効果の検証に基づく戦略・施策を策定し、積極的で緻密な広報を展開することにより、入学者数及び総科目登録数の増加を図る。

#### **計画 29 特定集団に対する広報（ライン広報）の充実**

- ・単位互換校、専修学校、看護師学校養成所、看護師特定行為研修の指定研修機関となる見込み及び申請予定の機関、都道府県・政令指定都市教育委員会等の集団ごとに、連携拡大の課題の把握と個々のニーズを調査し、連携の強化・拡大と入学者数の増加を図る。

#### **計画 30 認知度向上の促進**

- ・大学のブランドイメージに基づいて引き続き各種広報を行い、定期定量評価で検証しながら認知度の向上を促進する。また、地上波終了に伴う影響の分析や対策の検討を進める。